



医療における栄養管理の重要性

前回は、病院で働く管理栄養士の業務などを説明しました。今日は、医療における栄養管理の重要性を取り上げます。

そもそも栄養とは？

「栄養」と聞くと何を思い浮かべるでしょうか？一般的には、タンパク質や炭水化物（糖質）、ビタミンなどの言葉を思い浮かべることが多いと思います。

しかし、栄養という言葉の定義は、皆さんが普段イメージするものとだいぶ異なります。まず、「栄養」という言葉から思い浮かぶことが多いタンパク質や炭水化物（糖質）、ビタミンなどは、栄養の源となる「栄養素」の一つです。

患者さんの栄養を管理

● 医療の中の栄養

- ・ 食事量の減少
- ・ 活動量の低下
- ・ 体重減少、筋力の低下
- ・ 転倒・骨折のリスク、むくみ、風邪

これらのメリットを

- ・ 生活の質を高めることができる
- ・ 筋肉や体力を維持、向上させる
- ・ 生活の質を高めることができる
- ・ 筋肉や体力が低下する

患者さんの「食べられない・食べたくない」という小さな変化を見逃すことがないよう、多くの目で患者さんを見守り、関わることが栄養管理の第一歩です。管理栄養士も、一人一人に合わせて専門的な知識と技術を持って皆さんをサポートします。

● 栄養状態の悪循環

- ・ 食事量の減少
- ・ 活動量の低下
- ・ 体重減少、筋力の低下
- ・ 転倒・骨折のリスク、むくみ、風邪

これらのメリットを

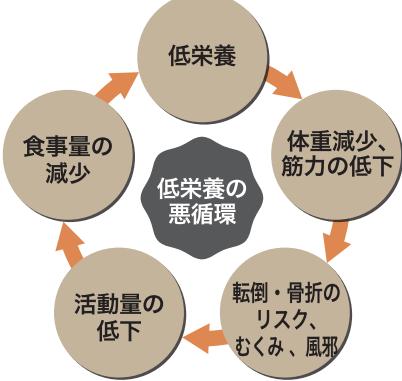
- ・ 生活の質を高めることができる
- ・ 筋肉や体力を維持、向上させる
- ・ 生活の質を高めることができる
- ・ 筋肉や体力が低下する

患者さんの「食べられない・食べたくない」という小さな変化を見逃すことがないよう、多くの目で患者さんを見守り、関わることが栄養管理の第一歩です。管理栄養士も、一人一人に合わせて専門的な知識と技術を持って皆さんをサポートします。

【図1】5大栄養素



【図2】低栄養の悪循環



（梶川病院（広島市西区天満町）管理栄養士
石橋亜由乃）